

生ズ、樹ニアラズ、出于花史、曰殆天地間之奇樹也、マコトニ草中ノ異物ナリ、寒氣ヲ畏ル、寒月ニ早クオホフ、ベシヲホヒナケレバ枯ル、油ノケガレヲヨクトル、

〔草木性譜〕天仙人掌 秘傳花鏡 附龍骨木 桂海虞衡志

南國の産にして甚寒を畏る、冬暖室に藏、水を灌べからず、寒中水を澆ば腐爛し活せず、枝を發し葉なく深綠色、尖刺有て只扁なる而已、大なる者は八九尺に及び、夏中新芽を頂に生ず、互扁なり、暖地に有る者は花を開く、忽然として扁上に發し、生處定らず、重瓣褐色、細縦文あり、黄藥繁く、心中に白藥有り、大さ茶梅花の如し、花後五稜の實を結ぶ、其一片を折て暫時日乾し、摺挿すれば即活し、嫩芽を生ず、刺あり、一説にこれを庭際に置ば火患を避と云ふ、花鏡に亦其説あり、今獅子と云ふ者は其變種なり、又龍骨木を以て仙人掌の一種とするは非なり、別種なり、

〔重修本草綱目啓蒙〕十六 仙天掌草 ザンポテイ ザンポテン ザンポテ 豫州 イロヘロ サチ
ラサツボウ トウナツ トウナス 薩州 ニヨロ 豫州 一名霸王樹 八種 仙人掌 秘傳
花鏡

花家ニ多シ、寒國ニテハ冬腐リ易シ、形手掌ノ如ニシテ長シ、大小等シカラズ、綠色、又黃瓜ヲ壓シ扁メタルガ如シ、體ニ疣刺多シ、縦横ニ二層ヲナシ、或ハ數層、或ハ旁ニ數枝分ツ者アリ、至テ大ナル者ハ丈餘ニ及ブ、夏花ヲ開ク、生處定マラズ、或ハ頂ニアリ、或ハ旁ニアリ、大サ二三寸許、重瓣赤黃色、千葉黃榴花ノ如ク、或ハ小蓮花ノ如シ、暖地ニテハ花後實ヲ結ブ、長サ二三寸、五稜ニシテ兩頭狭シ、熟スル者ハ地ニ下シテ生ジ易シ、コノ物夏中ハ甚ダ生活シ易シ、幾段ニ切り栽ユルモ皆生ズ、

增略 中 一種キリンカクト呼モノアリ、即慎火ノ圓キモノナリ、ソノ形胡瓜ノ如ク直立シテ幹狀ヲナシ、深綠色ニシテ縦ニ五稜アリ、稜上ゴトニ小瘤ヲ起シ、葉ヲ生ズ、五葉互生シテ圓ク莖ヲ圍ミ、層ヲナスゴト數十葉、卒ニ見レバ對生互生ノ別ヲキミ、似タリ、葉蒂ノ本ニ細刺ニ條アリ、葉ノ